

# NPO／GCMの活動報告

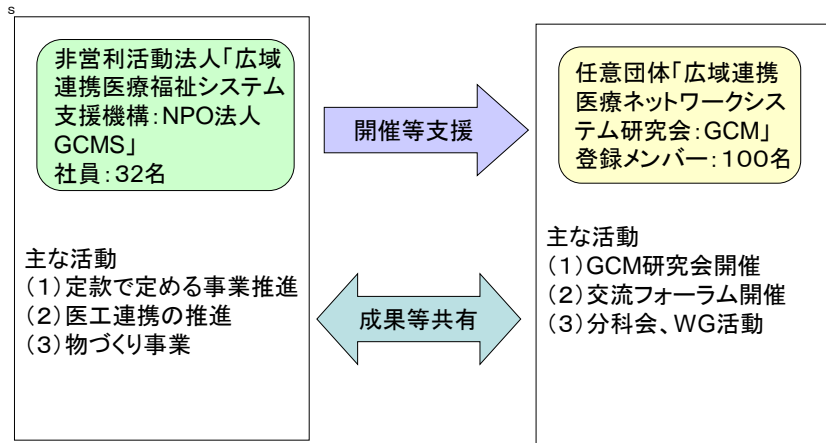
NPO法人広域連携医療福祉システム  
支援機構（略称:NPO法人GCMS）  
理事長 周藤安造

## NPO／GCMの活動とは

NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構（略称:NPO法人GCMS）とGCM研究会（広域連携医療ネットワークシステム研究会）が連携して行う活動。

具体的には、定期的な研究会開催や分科会活動（WG活動）。その他NPO法人がGCM研究会の協力を得て行う事業からなる。

# NPO法人とGCMの連携



## 主な活動内容

(2020.6.1~2021.5.31)

1. オンライン研究会活動
  - (1)GCM17の開催  
2020年6月27日(土)参加者:28名  
テーマ:「新型コロナウイルス対策に向けた在宅医療福祉ネットワークシステム」
  - (2)第8回NPO/GCM交流フォーラム開催  
2020年12月5日(土)参加者:30名  
キャッチフレーズ:「コロナ禍にNPO/GCMはどう向き合うか」
2. クリニック向け医療情報可視化研究WG活動
3. 機関誌「れんけい4号」発行
4. デジタル出版事業

## クリニック向け医療情報可視化WG活動

### 活動趣旨

- ①クリニックでの診察結果は、必ずしも患者に分かりやすく正確に伝わらずほとんどの患者は意味が分からず、死んだデータとなっており、これを改善できないか。
- ②そこで、医療診察結果のカルテ情報および医療データ(画像データ、血液分析データなど)を、患者に分かりやすく翻訳し伝える可視化などの研究を行う。
- ③病院向けや健診用システムは既に大手IT企業などで製品化されており、本WGでは、クリニック向け、一般受診者対象を目指す。
- ④本WGは在宅医療やオンライン診療への展開も視野に入れて研究する。

## 主な検討課題

- (1) 診察結果を患者に分かりやすく正確に伝える可視化研究  
心電図や画像、血液、尿検査結果(数値データ、画像データ)に、医学知識(基本知識、治療知識、薬学知識)を加えた図解、CG、アニメ、絵文字、音声、アバターなどにより分かりやすく可視化する方法の研究で医師と患者とのインターフェイスを図る。
- (2) 診察データの時間な変化などにより治療効果、将来予測、リスク警告などを分かりやすく、表示、可視化する方法としてAIやDBを活用する。
- (3) 処方する治療薬の説明や食事や運動などのアドバイスなど付加情報を患者に対し分かりやすく表示する方法を研究する。

## WGの概要

発起人：NPO法人GCMS：渡辺副理事長

主査：NPO法人GCMS：周藤

メンバー：

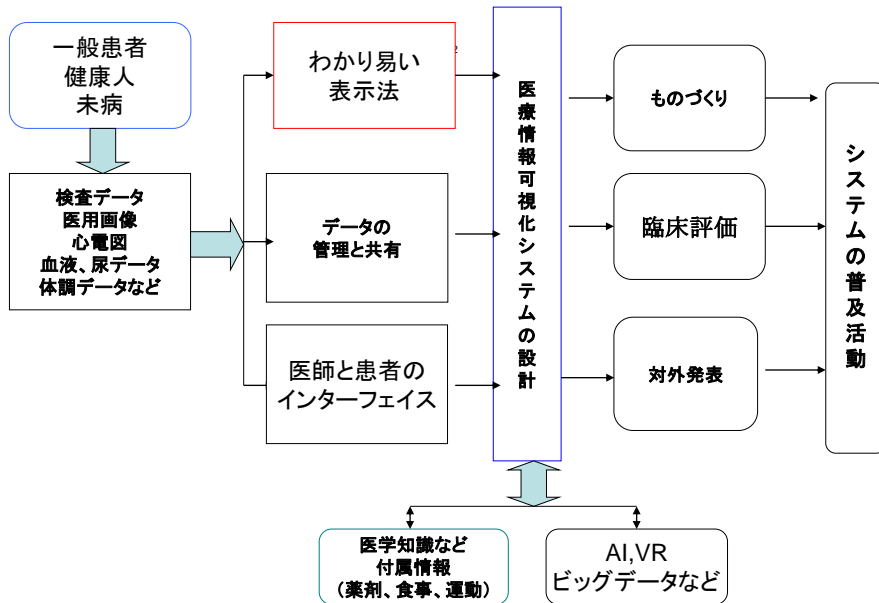
臨床、大学、企業、法人など17名

開催実績：2回

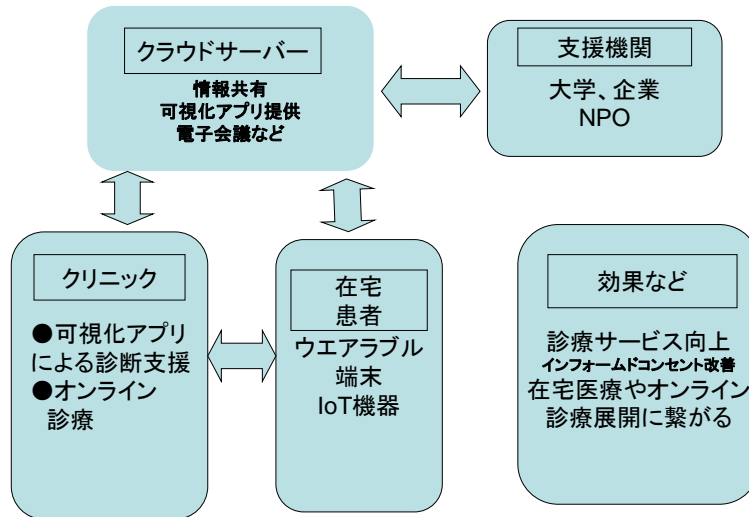
2021. 5. 29, 2021. 7. 3

WG開催は月1回程度、原則土曜日午後とする。

### クリニック向け医療情報可視化システム開発工程案



次のステップの研究課題  
在宅医療(オンライン診療)との連携による診療結果可視化研究



## 機関誌「れんけい4号」発行

(オンライン公開中)

- 巻頭言  
NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構 理事 神竹孝至
- 医療福祉技術の動向  
オンライン診療の可能性についての考察 など 4編
- トピックス  
「ファルマバレーの挑戦」～17年の軌跡と未来～など 4編
- 提案  
NPO法人広域連携医療福祉システム機構が進めるデジタル出版事業
- 製品紹介 2編  
AIセキュリティシステムCloud Coffe  
可視光線応答用練り込み繊維開発
- 報告  
オンライン会議によるGCM17、第8回交流フォーラムを実施して
- 新会員紹介

## デジタル出版事業

NPO法人GCMSによるデジタル出版事業は次の2つのステップを踏んで進める。

(1) コンテンツの無償公開サービス

(2) デジタル出版物の発行

## コンテンツの無償公開サービス

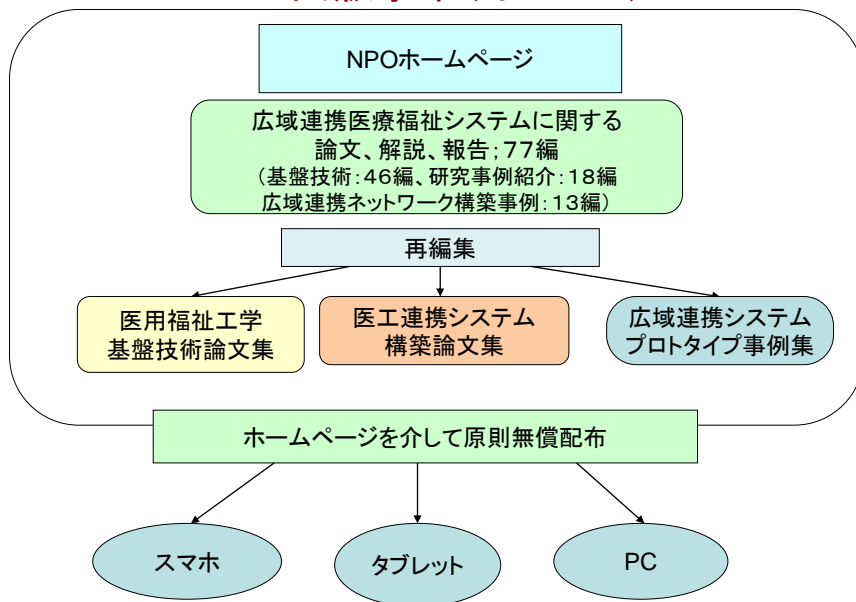
- (1) これまでに開催したGCM研究集会、交流フォーラム、分科会活動で蓄積された要素技術、医工連携に基づくシステム技術、および機関紙「れんけい」掲載済み論文等をデジタル・コンテンツとし、まず、NPO, GCM会員間で共有し、逐次追加更新する。
- (2) 一方で、コンテンツはカテゴリー（医用福祉基盤技術、医工連携研究事例、広域連携プロトタイプ設計）ごとに類別し、無償で公開し、引用、閲覧頻度を集計する。

## デジタル出版物の発行

- デジタルコンテンツの無償配布により、一定の評価が得られたら定款5条7項の定めるところにより、デジタルコンテンツを再編集した出版物(医用福祉工学基盤技術論文集、医工連携システム構築論文集、広域連携システムプロトタイプ事例集など)の無償配布を通じて地域医療ICT人材育成を支援する。

定款第5条 7. 広域連携医療福祉ネットワークシステムに関する地域医療ICT人材育成事業

## NPOの出版事業(イメージ)



## 課題と効果

1. コンテンツの有効性評価  
コンテンツ引用、閲覧頻度集計で評価
2. コンテンツの対外PR  
SNSなどの利用
3. デジタル出版事業により、NPO/GCMの活動が  
広くPRされれば、会員増なども期待される。
4. 将来的には、コンテンツの有償化も検討し、  
NPO収入の一環とする。

## おわりに

ご清聴ありがとうございました。

NPO法人GCMS